

エコアクション21

環境経営レポート

活動期間：2024年1月～2024年12月



フリーフレーム工法(3次元測量による出来高管理実施工事)

【 第三版 】
発行日：2025年4月1日



目 次

1. 組織の概要	1
2. 実施体制	2
3. 環境経営方針	3
4. 2024年までの環境経営目標	4
5. 2025年からの環境経営目標(百万円あたり)	5
6. 環境経営目標の実績と評価、次年度の取組み内容	6
7. 環境経営計画の取組状況とその評価	7
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	8
9. 代表者による全体の評価と見直しの結果	9
10. 活動の紹介	10、11

①事業者名、代表者名

株式会社 高山組

代表取締役 高山 茂明

②所在地

・本社 〒878-0025

大分県竹田市大字拝田原 6 0 8 番地

・駐車場

〃

・福岡支店 〒806-0021

福岡県北九州市八幡西区黒崎 3 丁目 2 番 2 号
菅原第二ビルディング 4F-B

③環境管理責任者名および担当者連絡先

環境管理責任者	工事部	担当
担当者	総務課	担当
連絡先	電話	0974-63-2500
	FAX	0974-63-0802
	メール	soumu@takayama-gumi.co.jp

④事業内容

・建設業

許可番号 国土交通大臣 許可(特-3)第26254号

土木工事業、建築工事業、大工工事業、左官工事業、とび・土工工事業、
石工事業、屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、鋼構造物工事業、
鉄筋工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、板金工事業、ガラス工事業、
塗装工事業、防水工事業、内装仕上工事業、熱絶縁工事業、造園工事業、
建具工事業、水道施設工事業、解体工事業

⑤事業規模

活動規模	単位	2024年
工事件数	件	38
売上高	百万円	1,721
従業員数	人	46

⑥事業年度

7月～6月

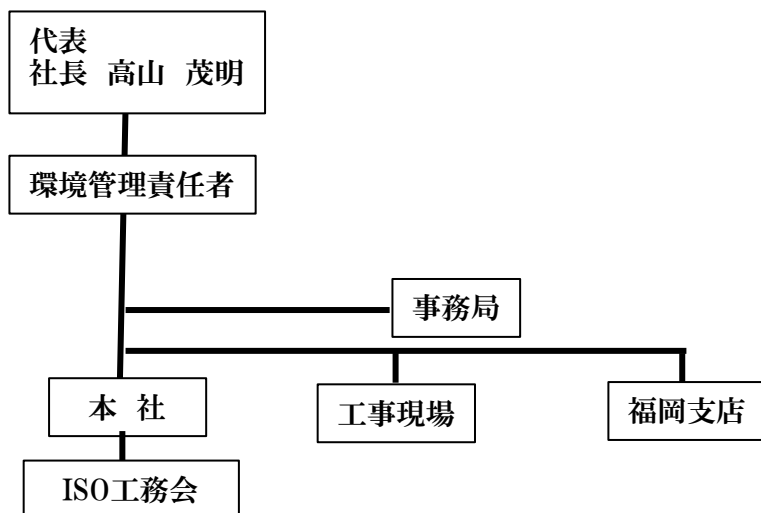
⑦対象範囲

全組織

土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業

2.実施体制

①EA21組織図



②EA21役割と責任及び権限

	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任者 ・環境経営に必要な経営資源(人・物・資金)を準備する ・環境管理責任者の任命 ・環境方針を定める ・環境目標及び環境活動計画、実施体制を承認する
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者 ・エコアクション21推進委員会の責任者 ・環境関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守状況チェック結果の承認 ・各部門の環境目標、環境活動計画、実施体制の確認と全体調整 ・環境上の緊急事態の想定及び対応策の承認 ・問題点の是正及び予防処置の承認 ・環境活動レポートの確認
事務局	・環境管理責任者の補佐、エコアクション21推進委員会の事務局 ・環境関連文書、記録の管理 ・環境活動に関する実績のとりまとめ ・外部環境コミュニケーションに関する窓口 ・環境活動レポートの作成
ISO工務会	・全社の意思統一、意見交換 ・各部門の実施状況、目標達成状況、問題点などの報告 ・効果的な環境活動に向けての提案・意見の交換
部門長	・自部門における環境活動及び環境活動計画の企画・作成・実施 ・自部門における環境活動の実施、目標達成状況を委員会に報告する ・自部門に必要な手順書などの作成、管理 ・自部門の問題点の発見及び是正、予防処置を実施する
全従業員	・環境方針、環境目標などの理解と自らの役割を自覚する ・自主的、積極的に環境活動に参加する

■基本理念

株式会社 高山組は、ますます深刻化する地球温暖化への対応や、有限である資源の有効活用が人類共通の重要課題と考えています。

ものづくりの全工程において環境汚染を予防し、廃棄物の削減並びに適正な処理に努め、合わせてリサイクルの推進を進めます。また、環境教育を通じ全社員一丸となって環境活動に取り組んでまいります。

■行動指針

(1) 具体的に次の事に取り組めます。

- ① 電力・化石燃料などの消費に伴う二酸化炭素排出量を削減する。
 1. 電力の使用量の削減
 2. ガソリンの使用量の削減
 3. 軽油使用の削減
 4. 灯油使用量の削減
- ② 使用原材料の省資源、廃棄物の3R(減量、再使用、再生利用)を推進する
 1. 一般廃棄物の分別によるリサイクル化の推進
 2. 産業廃棄物(工事関連資材等)のリサイクル化の推進
- ③ 水資源を大切にするため節水に努める
 1. 水道水使用量の削減
- ④ 環境に配慮した工事を実施する
 1. 工事で使用する資材はグリーン製品の利用を推進する
 2. 環境に配慮した工法を活用する
- ⑤ 事務所周辺の清掃活動を推進する
 1. 定期的な清掃活動

これらについて環境経営目標、環境経営計画を定め、定期的に見直しを行い、環境経営システムの継続的な改善に努めます。

(2) 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

(3) この環境方針は、全社員に周知するとともに社内外に公表します。

制定日：2023年3月1日

株式会社 高山組
代表取締役 高山 茂明

4.2024年までの環境経営目標

基準年度と令和4年の対象期間は、7月～翌年6月

令和5年より対象期間を1月～12月に変更

環境方針 の番号	選択課題	基準年度 (2021.7.1～ 2022.6.30) 3年度実績	令和4年 (2022.7.1～ 2023.6.30) 目標	令和5年 (2023.1.1～ 2023.12.31) 目標	令和6年 (2024.1.1～ 2024.12.31) 目標
1	二酸化炭素排出量 (CO2排出量)	88,903 kg-CO2	88,014 基準年度比 △1%	87,125 基準年度比 △2%	※2 130,000
1-1	電力消費量 (電気使用量)	67,094 kWh	66,423 基準年度比 △1%	65,752 基準年度比 △2%	65,081 基準年度比 △3%
1-2	ガソリン消費量 (ガソリン使用量)	21,054 ℓ	20,844 基準年度比 △1%	20,633 基準年度比 △2%	20,423 基準年度比 △3%
1-3	軽油消費量 (軽油使用量)	4,583 ℓ	4,537 基準年度比 △1%	4,491 基準年度比 △2%	※1 20,000
2-1	一般廃棄物	kg	—	数値把握	949,014 5年度比 △1%
2-2	産業廃棄物排出量 (建設廃棄物リサイクル)	リサイクル率	リサイクル率 95%以上	リサイクル率 95%以上	リサイクル率 95%以上
3	本社・現場の水使用量 (水使用量)	474 m ³	469.26 基準年度比 △1%	464.52 基準年度比 △2%	459.78 基準年度比 △3%
4	環境に配慮した工事を実施する。		環境経営計画に よる実行管理	環境経営計画に よる実行管理	環境経営計画に よる実行管理
5	社会貢献への参加		地域の清掃活動 やボランティア参加 月1回	地域の清掃活動 やボランティア参加 月1回	地域の清掃活動 やボランティア参加 月1回

(注記)

※1 基準年度にはなかったウォータージェット施工で遠方に行く機会が増えた事とウォータージェットは軽油を動力とするため、2023年の実績程度の「20,000ℓ」を仮目標値として設定する。

※2 軽油の目標値変更に伴い、CO2排出量の目標値も2023年と2024年の平均値を目標値とする。

1 電力のCO2排出係数は、九州電力 2021年の調整後係数0.385kg-CO2/kWhを使用。

2 灯油の使用量は少ないので、目標には設定せず、日常活動で管理していく。

3 CO2排出には、灯油の使用量を含めて管理していく。

4 一般廃棄物の目標は、2023年の結果を基に2024年に設定した。

5.2025年からの環境経営目標(売上百万円あたり)

対象期間は1月～12月

2025年2月10日

環境方針 の番号	選択課題		基準年度 (2024.1.1～ 2024.12.31) 令和6年実績	令和7年 (2025.1.1～ 2025.12.31) 目標	令和8年 (2026.1.1～ 2026.12.31) 目標	令和9年 (2027.1.1～ 2027.12.31) 目標
1	二酸化炭素排出量	百万円あたり	82.60	81.78	80.95	80.12
		実数	142,159	140,737	139,316	137,894
			kg-CO2	基準年度比 △1%	基準年度比 △2%	基準年度比 △3%
1-1	電力消費量	百万円あたり	35.93	35.57	35.21	34.85
		実数	61,838	61,220	60,601	59,983
			kWh	基準年度比 △1%	基準年度比 △2%	基準年度比 △3%
1-2	ガソリン消費量	百万円あたり	16.59	16.42	16.25	16.09
		実数	28,544	28,259	27,973	27,688
			ℓ	基準年度比 △1%	基準年度比 △2%	基準年度比 △3%
1-3	軽油消費量	百万円あたり	11.26	11.14	11.03	10.92
		実数	19,372	19,178	18,985	18,791
			ℓ	基準年度比 △1%	基準年度比 △2%	基準年度比 △3%
2-1	一般廃棄物		1,060 kg	1,049 基準年度比 △1%	1,039 基準年度比 △2%	1,028 基準年度比 △3%
2-2	産業廃棄物排出量 (建設廃棄物リサイクル)		リサイクル率	リサイクル率	リサイクル率	リサイクル率
				95%以上	95%以上	95%以上
3	本社・現場の水使用 量 (水使用量)		402 m ³	398 基準年度比 △1%	394 基準年度比 △2%	390 基準年度比 △3%
4	環境に配慮した工事 を実施する。			環境経営計画に よる実行管理	環境経営計画に よる実行管理	環境経営計画に よる実行管理
5	社会貢献への参加			地域の清掃活動 やボランティア参加 月1回	地域の清掃活動 やボランティア参加 月1回	地域の清掃活動 やボランティア参加 月1回

(注記)

- 1 今回より二酸化炭素の排出量及び電力消費量・ガソリン消費量は百万円当たりの数字に変更
- 2 電力のCO2排出係数は、九州電力 2023年の調整後係数0.406kg-CO2/kWhを使用。
- 3 灯油の使用量は少ないので、目標には設定せず、日常活動で管理していく。
- 4 CO2排出には、灯油の使用量を含めて管理していく。

6.環境目標の実績と評価、次年度の取組み内容

対象期間：2024年1月～2024年12月

評価基準：○100%以上 △90%以上100%未満 ×90%未満

2025年2月10日

環境方針番号	選択課題	基準年度 2021年度	2024年度目標 基準年度比 △3%	2024年度 実績	目標 達成率	評価
1	二酸化炭素排出量（CO2排出量）kg-CO2	88,903	130,000	140,860	92%	△
評価と次年度の取組内容	基準年度になかったウォータージェット（大型機械）の導入で原材料の軽油の使用量が大幅に増えCO2の排出量の増加が考えられた為、2023年と2024年の結果の平均値を目標値として設定。その結果、目標達成まであと一歩というところまできた。今後もより一層CO2排出量削減のために頑張りたいと思う。 この3年間を通して各年で工事の数や規模が違うのにもかかわらず数値を比較するのに違和感を感じていた。 そこで、次回からは売上100万円あたりで目標を立て直すこととした。しかし、今回の結果は結果とし全社員に報告して今後のCO2削減を意識してもらった。					
1-1	電力消費量（電気使用量）kWh	67,094	65,081	61,838	105%	○
評価と次年度の取組	目標をクリア。昼休み消灯は定着した。 仕事中も不要な電気はこまめに消したり、働き方改革による定時の退社が浸透してきた結果だと思う。 2024年の振り返りを行った際、「電力消費量削減のための具体的な行動」で冷暖房設定温度を夏28℃冬20℃としていたが、現実的ではないとの意見が上がり、調べてみると官公庁などは室温を夏28℃冬20℃と設定している事がわかった。 よって、弊社も官公庁等に習い室温を夏28℃冬20℃に変更する事とした。そのため室温を計るための温度計の購入予定。					
1-2	ガソリン消費量（ガソリン使用量）ℓ	21,054	20,423	28,544	72%	×
評価と次年度の取組	玉米ダム工事竣工により、近辺での工事が激減。遠方の現場（種子島や山陰地方・四国など）に行く事が増えた為、ガソリン消費量を抑えることができなかった。 現場事情でなかなか目標達成は難しいが、取組やすいアイドリングストップなどの声かけは続けていきたい。					
1-3	軽油消費量（軽油使用量）ℓ	4,583	20,000	19,372	103%	○
評価と次年度の取組	基準年度になかったウォータージェット（大型機械）の導入で原材料の軽油の使用量が大幅に増えた為、昨年目標値の変更を行った。 本年度は変更後の目標をクリアした。が、今後も使用量の削減の啓発は続けて行く。					
2-1	一般廃棄物排出量（廃棄物排出量把握） 排出量 kg	燃やすごみ 822 （2023年実績）	814 2023年実績比 △1%	1060	77%	×
評価と次年度の取組	昨年のレポートに記載したように2023年初めて数値化した量を基準年度の数値とし本年はその1%減を目標値とした。 従業員の増加で捨てられるゴミの量も増えた為目標達成ができなかった。 本年度からは段ボール専用のゴミ箱を皆が捨てやすい場所に設置して、確実に資源ゴミ化出来るようにしていきたい。					
2-2	廃棄物排出量（廃棄物排出量） リサイクル率 %		95%以上	99.2%		○
評価と次年度の取組	建設混合廃棄物と廃プラが埋め立て処分となったため、再資源化率は99.2%となったが、建設リサイクル法の対象産廃物はリサイクル率100%。 令和7年も法を守って処理をおこなっていく。					
3	本社・現場の水使用量（水使用量）m ³	474	459.8	402	114%	○
評価と次年度の取組	本年は、目標をクリアすることが出来た。工種や工事の規模により使用する水の量は変わってくるので次年度目標に近づけるかは不透明だが、今後もラベルやポスターなどで節水を呼びかけていく					
4	環境に配慮した工事の実施		実施する	○	100%	○
5	社会貢献への参加		地域の清掃活動 やボランティア参加 1回以上	○	100%	○

電力のCO2排出係数は、九州電力2021年の調整後係数0.385kg-kWhを使用。

7.環境活動計画の取組状況とその評価

○:できた △:改善の余地あり ×:できなかった

評価日:令和7年2月10日

評価者:工事部次長

環境方針の番号		目標課題	具体的な行動(活動)	事務所	現場
二酸化炭素排出量削減	1-1	電力消費量削減	1. 冷暖房設定温度の設定(R7より室温の設定温度とする)。夏28℃冬20℃を基本とする。	△	△
			2. OA機器の退社時電源OFFする。	○	○
			3. 空調機フィルターの清掃する。	○	○
			4. 不必要箇所の照明を消す。	○	○
	1-2	ガソリン消費量削減	1. エコドライブの推進。急加速急停車をしない。	○	○
			2. アイドリングストップする。	○	○
	1-3	軽油消費量削減	1. エコドライブの推進。急加速急停車をしない。	○	○
			2. アイドリングストップする。(車)	○	○
			3. アイドリングストップする。(重機)	—	○
2		廃棄物排出量削減 (一般廃棄物・産業廃棄物)	1. ゴミの分別を徹底する。	○	○
			2. リサイクル可能ゴミの確認とその周知を徹底する。	○	○
			3. コピー用紙の裏側使用の推進する。	○	—
3		水使用量削減	1. 節水シールを貼り意識を喚起する。	○	○
			2. 洗いものはまとめてする。	○	—
4		環境に配慮した工事の実施	1. 低騒音車輛、ハイブリッド車、低燃費車の使用	○	○
			2. IT・ICT機器の使用推進	○	○
			3. 購入時のグリーン購入の検討(随時)	○	○
5		社会貢献への参加	1. 所属団体や公共機関のボランティアに参加する。	○	○
			2. 毎月1回以上の清掃活動	○	○

8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

関連法規法令違反はありませんでした。
苦情1件、その他指摘、訴訟等ありませんでした。

遵守評価日：令和7年2月10日

遵守評価者： 工事部次長

	関係法令	チェック項目		チェック方法	評価
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	1	産業廃棄物マニフェスト	マニフェスト管理状況確認	○
		2	廃棄物委託契約書	契約書の内容確認	○
		3	保管場所表示、保管基準遵守	現場確認	○
		4	管理票の交付状況定期報告 多量排出事業者の報告	年間報告提出の確認	○
		5	収集運搬車への表示およびマニフェスト携帯	現場確認	○
2	建設リサイクル法	1	対象工事に係る分別、再資源化の実施	現場確認	○
		2	2.対象工事の市町村長への届出、報告	届出書、報告書	○
3	騒音規制法	1	対象工事における騒音規制 (特定建設作業)	現場確認	○
4	振動規制法	1	対象工事における騒音規制 (特定建設作業)	現場確認	○
5	フロン排出抑制法	1	業務用エアコン室外機 定期点検(1回/3ヵ月)	点検表	○
		2	業務用エアコン室外機 適切な廃棄	フロン回収書	該当無し
6	資源有効利用促進法 (PCリサイクル法)	1	PC、周辺機器の適切廃棄	領収書	該当無し
7	家電リサイクル法	1	リサイクル料支払い	リサイクル券	該当無し
		2	廃棄時の適正処置	領収書	該当無し
8	自動車リサイクル法	1	リサイクル料支払い	リサイクル券	該当無し
		2	廃棄時の適正処置	領収書	該当無し
9	消防法 (地下タンク)	1	日常の漏洩点検実施確認	実施の確認	○
		2	1年1回の消防署検査実施確認	実施の確認	○
		3	3年1回の漏洩検査実施確認 (法定検査)	実施の確認	○
10	消防法 (危険物)	1	指定保管数量の遵守	現場確認	○
11	浄化槽法 (合併処理槽)	1	保守点検の遵守	現場確認	○

9.代表者による全体の評価と見直しの結果

会社名	株式会社 高山組		
見直し実施日	令和7年2月28日		
出席者	代表者 代表取締役 高山 茂明	環境管理責任者	
	事務局員		

環境情報	環境管理責任者の所見	代表者のコメント
1 環境関連法規等の遵守状況確認結果	法規は遵守 問題なし	引き続き遵守をお願いします
2 環境目標の達成状況	削減目標は未達である	原因を確認して改善をお願いします
3 環境活動計画の実施状況	各現場で実施	現場からの報告書の作成をお願いします
4 問題点の是正、予防の状況	朝礼等で指導し改善する事	具体的な予防策の提案をお願いします
結果及び対応結果	本年度1回実施 周知徹底を行う	適時周知徹底お願いいたします
7 その他	なし	特になし

指 示 直 し の 必 要 性 判 断 と 代 表 者 の	①環境方針	方針は継続します
	②環境目標	削減目標未達の場合は原因を究明して改善できるように目標設定を行うこと
	③環境活動計画	環境目標達成のため常に計画の見直しを行い改善に努めること
	④実施体制	目標達成度を会社のチームスで情報共有毎月行ってください
	その他の指示	結果報告を全体会議で行い成績優秀者には表彰をしましょう

10.具体的な取組状況



はつり風景



WJの機械



はつりに使用した濁水やはつり殻を回収する強力吸引車



作業用防護服



環境に配慮した機械

ノズルから噴射された高圧水のエネルギーにより、コンクリートのセメントモルタル結合を破壊するウォータージェット。振動が非常に低く、鉄筋を傷めずに除去可能。また、強力吸引車で廃棄物を吸引するため、粉塵が少なく従来のはつり方法より環境に優しい。

② DXの推進



3次元設計面を画面上で見ながら施工できるため丁張作業が不要
大幅な工期短縮及び経費削減につながる。



AR技術の活用。iPad越しに現場の完成予想が確認できる。



現場から本社に戻る必要もなく、また、県外に出張している社員も参加できるWeb会議を毎月開催している。

③ ドローンによる施工管理



毎月ドローンによる出来形確認をし、情報共有を行う。



水中ドローンで浚渫工事の出来形確認ができる。



不燃・可燃・資源ごみの分別



ペットボトルのキャップを集めて
発展途上国のポリオワクチン寄付

⑤ ボランティア活動



近隣小学校のゴミ0運動に参加



市内の夏越祭りの
ボランティア



現場がある地域のお祭りの手伝い

⑥ SDGs宣言



史跡の清掃



毎月行っている近隣神社
のボランティア清掃

